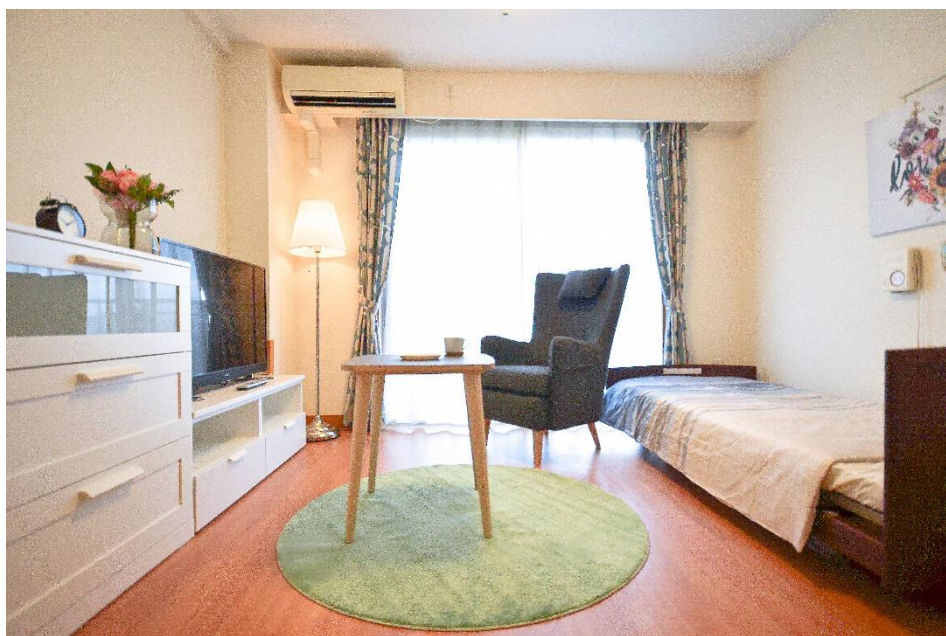


2020年12月2日

～住まいに思いやりがある家具を～
介護施設初！イケアコーディネートモデルルーム
SOMPOケア そんぼの家 狛江にオープン

SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 遠藤 健、以下 当社）は、介護付きホーム「SOMPOケア そんぼの家 狛江」（以下、そんぼの家 狛江）に、介護施設として初めてイケア・ジャパン株式会社（以下、イケア）コーディネートモデルルームをオープンしましたので、お知らせします。モデルルームには、イケアが世界的な高齢化を背景に、人間工学に基づいて開発したコレクション、“OMTÄNK SAM／オムテックサム”シリーズの家具を設置しました。美しいデザインと優れた快適性を兼ね備え、自立した暮らしをサポートする思いやりあふれる製品で、ご入居者さまやご入居検討者さまに、過ごしやすく安心できる環境をご提案します。



そんぼの家 狛江のモデルルーム

1. 背景と目的

超高齢社会の日本では、認知症のある方や要介護認定者数が増え、介護施設も年々増加しており、それに伴って人々の生活スタイルや住まいに対するニーズも多様化してきました。当社は、「介護の未来を変えていく」というスローガンを掲げ、介護サービス品質の向上や次世代テクノロジーの活用を通じた、介護のより良い未来の実現を目指しています。介護施設が、高齢者の理想とする住まいであるために、一人ひとりが自分らしく、認知症のある方や身体に障がいがある方も誰もが過ごしやすい、ユニバーサルデザインや機能的な住まいのあり方を研究しています。

一方、イケアは急速に進む高齢化を背景に、人間工学に基づいたデザインで自立した暮らしをサポートする“OMTÄNK SAM／オムテックサム”※ シリーズを開発し、2018年から展開しています。当シリーズは、人間工学の専門家や作業療法士、介護の研究者らが開発に携わった、生活に少しのサポー

トを必要とする方のためのシリーズです。“OMTÄNKSAM／オムテックサム”はスウェーデン語で、「思いやりがある」を意味し、美しいデザインと優れた快適性、機能性で、誰もが使いやすい製品となっています。

このたび当社は、ご入居者さまにとってより良い暮らしとその継続を支援するために、イケアが人生のさまざまなステージにおいて、身体の物理的変化によって生じるニーズに着目して開発した、安心・安全でデザイン性の高い“OMTÄNKSAM／オムテックサム”シリーズに深く共感し、介護施設として初となる、イケアコーディネートモデルルームをオープンしました。

※ “OMTÄNKSAM／オムテックサム”（提供元：イケア・ジャパン株式会社）

2. イケアコーディネートモデルルーム概要

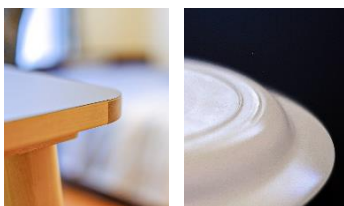
高齢者、そして認知症のある方にも使いやすく、快適な環境を提供することを目的とした今回のモデルルームは、コンセプト形成からイケアのサポートの下で空間づくりが行われ、当社の介護現場スタッフの意見も交えながら、“OMTÄNKSAM／オムテックサム”シリーズの製品を配置しました。

当シリーズの製品には、人間工学等各分野の専門家に加えて、介護スタッフや高齢者、認知症のある方という、ケアをする側と受ける側双方の視点が入り込められているので、介護施設での実際のさまざまな生活シーンをイメージしながら製品を配置し、モデルルームを創り上げることができました。また、当シリーズの製品だけではなく、他のイケア製品も組み合わせで多数配置しており、日々の暮らしをより安心、安全、快適にしてくれる、デザイン性と機能性を兼ね備えたモデルルームになっています。

また、ご入居者さまやご入居検討者さまは、モデルルーム内のイケア製品で気に入った物があればイケアのウェブサイトを確認の上、購入することができます



高い背もたれが背中と腰を快適にサポートし、長時間でも心地よく座れるパーソナルチェア。



サイドテーブルの天板は、光の反射が少なく目にも優しいマットな仕上がり。プレートは裏面にシリコンのリングが付いており、置いたときに滑らない。



持ちやすさを意識した優しいカーブを描くデザインが特徴の花瓶。握力が低下した方でも、気軽に持ち運びができる。

3. 今後について

当社はこれからも、高齢者が自分らしく、認知症のある方や身体に障がいがある方も誰もが過ごしやすい、ユニバーサルデザインや機能的な住まいのあり方を研究し、ご入居者さまのQOL（生活の質）向上を目指します。

以上